

所報タイトル「挑戦」は所内で掲げる

平成 22 年度の目標です。

発行責任者 / 小林 政氏
発行日 / 2010 年 10 月 1 日

ANAB
ISO 9001:2000 認証取得
B06G10002ROS

●会計 ●相続 ●経営コンサルティング

KOBAYASHI GORDON

小林合同会計

所長税理士 小林 政氏
税理士 山野 基尚 税理士 須賀 保雄

〒332-0032 埼玉県川口市中青木1丁目1番25号
TEL (048) 253-5668 FAX (048) 253-7602
<http://www.e-cg.co.jp>

この所報のバックナンバーは弊所ホームページにて掲載しております。

改善委員紹介

企業における「改善」とは日々の業務を見直して無駄を省き、より効果的な方法を見つけていく事です。
「改善」はトヨタをはじめとする日本の製造業の強さの要因として知られ、海外でもそのまま「Kaizen」として広く通用する言葉となりました。
営利を追求する企業にとって、業務の効率化、コストの削減は欠かせないものです。
そんな改善活動を支える当所の改善委員の活動をご紹介します。

<改善委員メンバー>

星野・瀧澤・白井・新井・荻島

改善提案の流れ

2

電子掲示板に各自提案を書き込む

↓
全員で投票

↓
採用・表彰

↓
実行

↓
効果の検討

実行例



資料の受け渡しの際今までの紙袋から環境に優しいエコバックになりました。

改善委員より

新井勝代

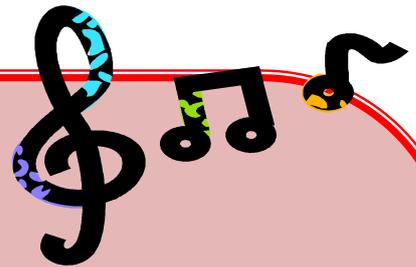
事務所で改善委員をたちあげてから、今月で10カ月が経ちました。当初は、所員から改善案を募ることしか決まっておらず、どう進めていけば良いのかわかりませんでした。最近になり、方針が定まってきて委員の活動も落ち付いてきました。所員全員の意見を通じて、もっと仕事のしやすい環境を作っていけるよう心掛けたいです。

今までに採用された提案は、直接仕事に関するものから所内のコーヒーに関するものまで様々です。それぞれの立場から提案がなされることで、仕事の効率アップや経費の削減だけでなく、全員が常に問題意識を持って行動できるようになりました。所員一人一人が試行錯誤を繰り返し、これまで以上に皆様のお役に立てる会計事務所になれるよう努力していきたいと思っております。





音楽の秋



前に一度、所報のふらっと職員の担当をした時も同じテーマで書かせて頂きましたが、またまた私の趣味について書かせて頂きます。

私は、中学高校と吹奏楽部でクラリネットを吹いていました。20歳の時にクラリネットを購入し、そのまま川口の市民楽団に入団しました。

それから2年程経ち、都内の演奏趣旨の違う楽団にも在籍し、二つの楽団を掛け持ちして演奏してきました。

その甲斐あってか、学生時代のブランクも埋まり、学生時代より演奏技術が上達したのではないかと感じる、今日この頃です。

今年の9月は、所属している楽団の定期演奏会が1週間違いでそれぞれにあり、練習スケジュールが凄いことになり、苦労することになりました・・・

土曜日の夜・日曜日の午前・午後。長い時で、日曜日の夜までやっていましたので、土日で練習時間が15時間超えたこともありました・・・口内炎になりました。

一つの演奏会では運営にも関わりましたので、演奏会が両方終わった今は達成感でいっぱいです。

それでも、11月7日には川口キャラでクリスマスミニコンサートをやらせて頂いたり、まだまだ音楽漬けの日々は続きます。

ぶらっと

かわぐち ～ 鋳物工場 編 ～

4

恒例となりました川口の名所や名物を御紹介していく企画。
今回は川口の伝統として知られる鋳物について触れていきたいと思います。
川口と鋳物、こんな歴史があったのをみなさんは御存知でしたか…？

川口の鋳物産業が盛んになったのは江戸時代からです。
荒川や芝川の砂や粘土が良質だったほか、消費地江戸と隣接し交通が盛んだったため、その需要をのばしていったといわれています。

第一次世界大戦から太平洋戦争終戦までの間には、川口の鋳物業は生産額・技術面・製品面に飛躍的な発展をとげ、名実共に『鋳物の川口』といわれるようになりました。



…こうして、明治維新以来の国の政策の下、現在の川口の産業都市の基盤を形成してきたのだと言えるでしょう。



川口鋳物に関する豆知識



幕末の動乱の中で勝海舟の指示により川口の鋳物によって大砲が作られたのですが、復元された大砲が以前川口駅西口リリア前に展示されていました。現在は川口文化財センターに移動されています。興味のある方は、一度ご覧になってみてはいかがでしょうか？

